

平成21年度環境委員会 国際交流パート

デンマーク大使館訪問記

訪問日 平成21年8月28日



平成21年度環境委員会 国際交流パート

吉田直也

森崎宗一郎

谷中慎太郎

1 はじめに

環境委員・国際交流パートは、環境活動を行っている諸外国の機関への取材を行い、日本と外国との環境に対する考え方の違いなどを学校に伝えていくことを目的としています。今回は2009年8月28日に、東京都代官山にあるデンマーク大使館に取材に訪れました。なお、事前にメールで質問を送り、それに対する回答を当日受け取る、という形式で行いました。

2 訪問相手紹介

デンマーク大使館・商務官 寺尾 真紀氏

3 当日の様子

デンマーク大使館は代官山駅からすぐ近くにあります。

建物はとてもお洒落なデザインでした。

中に入るとすぐ簡単な待合室があり、レゴブロックやアンデルセン物語などの本がおかれていました。



写真左は外観、右は取材をさせていただいた部屋です。

部屋の家具はデンマークのもので、とてもよいデザインでした。

部屋に入るとすぐ質疑応答が始まりました。

4 質疑応答

Q1 デンマークには環境問題に対して何か活動を行っている学校はあるのでしょうか？

A1 大きく2つあります。

1つは **Teachers COP15** というものです。これは教師たちに学校でこんな取り組みをしたらよいのではないかと提案をするものです。

これは全ての学校での義務ではありません。

もう1つは、エコスクールプログラムです。これは国際的な取り組みとして行われているものです。各学校で委員会をきめ、学校の現状を調べ、それをもとに行動計画を作成・提出します。その後の計画に基づく行動である程度の結果を出すと、その証としてグリーンフラッグというものが与えられます。

他には、林間学校や森の学校などで自然とふれあい大切さを学びます。



グリーンフラッグ(HPより引用)

Q2 リユース推進のためのデポジット制度はお金を消費者に還元していますが、企業の不利益にはならないのでしょうか？

A2 デンマークでは義務づけられているので不利益にはなりません。返却率は約9割です。

Q3 デンマークのサムソ島について質問します。

この島はエネルギー自給率100%を実現するにあたり、これには住民の協力が大きかったそうですが、どのようにして住民の環境に対する意識を高めたのでしょうか？

A3 重要なのは「再生可能エネルギーの出資に経済的なメリットがある」ということです。サムソ島では風車を購入した人が優遇されるようになっていました。サムソ島での動きは口コミで広がっていったようなものなので、このようなことが鍵でした。

Q4 環境問題に関心のない人にはどう興味を持たせるべきでしょうか？

A4 NIMBYというものがあります。

Not In My Back Yard

「私の裏庭にはしないで」

このような人たちには環境対策の経済的な魅力や、税金がかかり金が取られることを伝えます。

ですが、大切なのは、個人にどんな影響があるのかを伝えるこ

とです。日々の生活に目を向けさせ訴えていくことが重要です。

Q5 デンマークにはアンチ環境運動のようなものはあるのでしょうか？

A5 アンチまではいかなくとも、抵抗は必ずあるでしょう。環境運動とは別ですが、ビアン・ロンボーグという学者がいます。彼は地球温暖化について、「マスコミは大げさだ。それほど大きな問題ではない」と述べています。

Q6 日本ではエコバッグなるものが売り出されており、人気も高まっています。デンマークでもそのようなものは普及していますか？

A6 エコバッグが始まったのはここ数年のことです。IRMAというスーパーのエコバッグがそのデザインから人気です。



質疑応答の後、メルビン駐日デンマーク大使にお会いしました。激励のお言葉を頂くとともに、今年12月にデンマークのコペンハーゲンで開催されるCOP15の成功を祈ってくださるとのことでした。残念だったのは、会話が英語だったために発言できなかったことです。英語の重要性を痛感しました。

5 終わりに

今回、取材をさせていただいて、最も重要なこととは長期的で一貫性のある計画なのではないかと感じました。デンマークのサムソ島では環境問題に対して行動を起こした人が優遇されるように政府が図っていました。

明確なビジョンを示すことによって、住民もその計画を信頼してくれるのではないかと思います。

また、デンマークは意識しなくとも人が自然と接していることから、環境に対する責任というものが日本人よりも強いのではないかというお話を聞いて、やはり自然の大切さを人々に伝えていくことが必要なのだとも思いました。

最後に、今回貴重な時間を割いてくださった寺尾氏、そしてデンマーク大使館の皆様、本当にありがとうございました。